



博物館通信



秋号



2023年10月発行 Vol.89

☆秋の夜空で輝く惑星

夏の蒸し暑さが落ち着いて風が心地よい秋になりました。南の夜空を眺めると、星々の間にひとときわ明るく光を放っている星が二つあることに気がつきます。これら二つの惑星は木星と土星で、ちょうどこの時期に見ごろを迎えています。では、これらの惑星の特徴について簡単に説明しましょう。

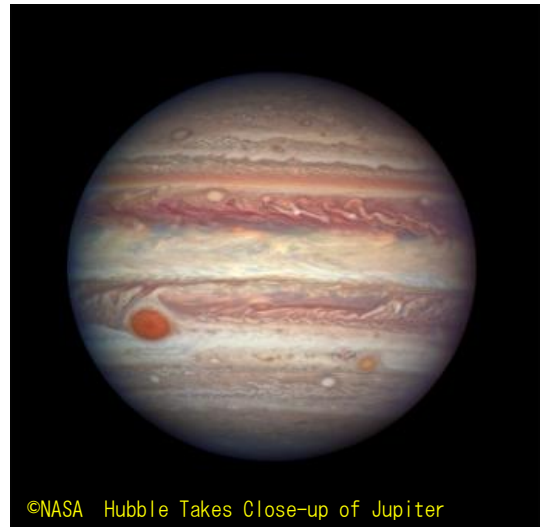


東 南東 南 南西
図は11月10日20時頃の空(ステラナビゲータで作成)

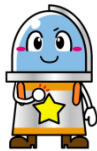


木星の特徴

大 き さ	地球の約11倍(太陽系最大のガス惑星)
太陽からの距離	太陽から地球までの約5倍
公 転 周 期	約12年
大 気 の 成 分	主に水素、約10%はヘリウム
平均表面温度	約-145℃
そ の 他	・ガリレオ衛星(イオ、エウロパ、ガニメデ、カリスト)など約100個の衛星があり、エウロパは表面が厚い氷でおおわれ、氷の下には深海がある。 ・「大赤斑」という巨大なうず模様があり、大きさは数万kmにも達する。



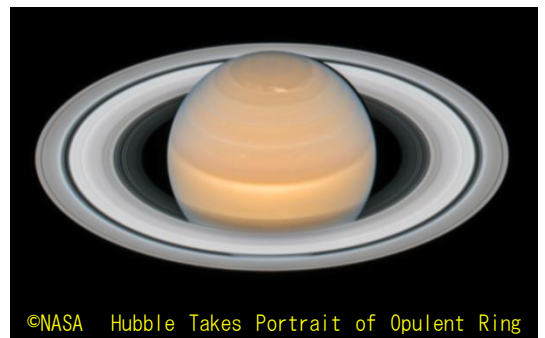
©NASA Hubble Takes Close-up of Jupiter



今年、エウロパの地表に二酸化炭素の氷が見つかって、生命の存在や発見に期待が高まっているんだ！

土星の特徴

大 き さ	地球の約9倍(木星の次に大きいガス惑星)
太陽からの距離	太陽から地球までの約10倍
公 転 周 期	約30年
大 気 の 成 分	水素とヘリウム、雲はアンモニアの結晶
平均表面温度	約-175℃
そ の 他	・小さな氷や岩のかげらでできた環がある。 ・約150個の衛星が見つっている。 ・衛星タイタンには、メタンやエタンの海がある。 ・衛星エンセラダスは大量の水蒸気を噴き出していることが観測された。



©NASA Hubble Takes Portrait of Opulent Ring

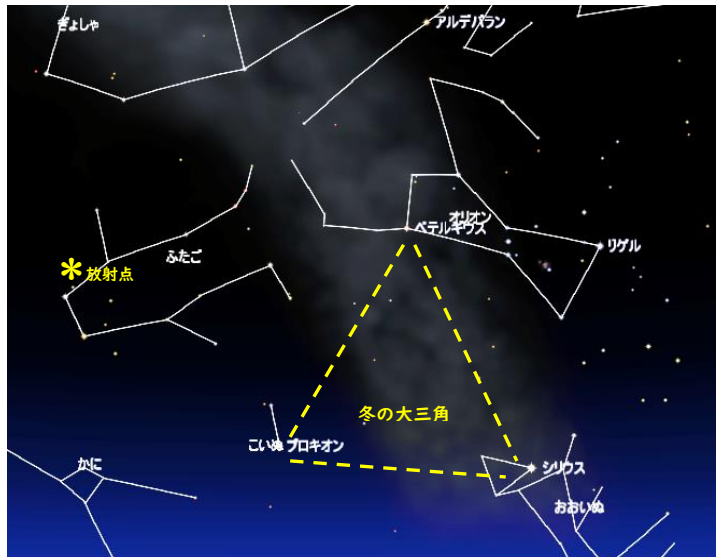
☆クリスマス前のプレゼント？

天文現象の中でも人気がある流星群。12月に見られる「ふたご座流星群」は三大流星群のひとつで、毎年安定して多くの流星が見られます。

今年は、12月15日4時頃、最も多くの流星が出現する「ピーク」を迎えると予想されます。13日から15日の間も多くの流星が見られる可能性があります。観察には暗い空が適しています。幸い、月は13日に新月ですから月明かりの影響はほとんど無く、絶好の条件といえます。

一晩中流星を見るチャンスがありますが、おすすめは14日の夜、少し放射点が高くなる午後9時頃からです。ふたご座は東の空にあり、南隣にはオリオン座や冬の大きな三角があるので見つけやすいでしょう。

観察する際は、十分な防寒対策をして空全体を眺めましょう。観察に適した、晴れて雲が無い夜は放射冷却が起きて冷え込みます。観察に熱中するあまりカゼをひいてしまった、なんてことにならないように…



東北東 東 東南東
図は12月14日21時頃の空(ステラナビゲーターで作成)



イベント情報

あさくち天文台フェスタ 2023
10月28日(土) 9:00~16:30
(無料シャトルバス運行)
岡山天文台特別公開、ミニ講演会
実験・工作ブース、スタンプラリー
プラネタリウム特別投映 など

※詳しくは当館HPをご覧ください

かがく広場(事前申し込み必要)
11月11日(土) 9:30~11:30
「牛乳パックを使ったカメラづくり」
せいめい電視観望会(事前申し込み必要)
11月25日(土)
冬の観望会(事前申し込み必要)
12月9日(土)



プラネタリウム 秋 番組

「見えない光？ 宇宙を知る冒険」

見えない光「電波」ってなんだろう？小学生の杏奈さんは、お父さんが働いている南米チリのアルマ(ALMA)望遠鏡を一人旅で訪れます。壮大なアルマ望遠鏡にびっくり！広大なアタカマ砂漠の風景と美しい星空にうっとり！お父さんが研究している宇宙の姿もバッチリ！杏奈さんといっしょに冒険旅行を楽しみましょう☆



岡山天文博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>